

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・事業所の特徴	「要介護状態になっても地域とのつながりを絶やさない」「地域の中の施設」をコンセプトにしています。介護が必要になった人が家族や地域とのつながりを保ちながら、生活を送れるように「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態を本人、家族の希望に合わせて柔軟に組み合わせ利用できます。「通い」「訪問」「泊まり」どのサービスを利用してもいつも顔なじみのスタッフがケアを行います。少人数登録制のため家庭的な雰囲気での利用者・スタッフと楽しく過ごすことができ認知症の方も不安なく過ごすことができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護撰田屋	管理者	木村真人		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	1人	3人	1人	0人	4人	0人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	個別に日時を決めて詳しく説明する機会を設ける。 外部評価を理解していただく為の説明が少なく、それを行う為の事前準備も足りなかった。 職員側もサービス評価の手順を見直し、理解を深めるようにする。	改善計画が現在進行中のものが多くあり、評価できていないものもある。できるだけ達成出来るように努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・参加されなかった方の意見はどのようにされましたか。 ・人員配置についてどのようになっているか ・その日に参加されなかった職員についてどのように対応しているのか ・改善計画が達成されているのが3つ、あとはまだ出来ていない状況なので改善に努めていただければと思う。 ・事業者、職員は忙しい中で大変でしょうが十分に行っていると思う 	現在行っている改善計画を継続し、目標を達成できるように努める。
B. 事業所のしつらえ・環境	季節の雰囲気が感じられるような環境作りを行う。	季節に合った飾りや行事を行い雰囲気作りに努めた。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の境が分かり辛い為か、事業所の雰囲気や空間が分からない。(来る機会が少ない為) 	小規模入口にある地域交流掲示板を活用し、季節や小規模の雰囲気を感じられるような内容に変更する。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所の内容を広報誌などで地域にお知らせする。 サポートセンター撰田屋が現在地域と関わっている取組を今後も継続する。	地域とのかかわりを大切に取り組んできた。	全体的に良くやっているのではないか。	事業所の内容を広報誌などで地域にお知らせする。 サポートセンター撰田屋が現在地域と関わっている取組を今後も継続する。 地域での相談等あれば、運営推進会議でも報告する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	せったや便り（広報）やせったやカフェなどで小規模の紹介をする。 サポートセンター撰田屋が現在地域と関わっている取組を今後も継続する。	行事やイベントには出来るだけ参加してもらい、利用者と地域とのかかわりを継続できている。	相談の実績があったか、ないのかわからない。	回覧に小規模が介護相談の窓口になっている事を掲示する。また、地域からの相談事があれば対応に努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で議題に上がった内容はできるだけ迅速に対応する。 自由意見の通り、必要に応じて市の方を含めて検討していく。	検討する課題等がなかったが、上がれば検討する。	特に検討する課題等がなかった。	運営推進会議で議題に上がった内容はできるだけ迅速に対応する。 必要に応じて市の方を含めて検討していく。
F. 事業所の防災・災害対策	防災・災害対策の仕組みを書面で説明する。 地域の防災訓練に今後も継続して参加する。	防災・災害対策に努め、地域と協力して取り組んでいく。	市のハザードマップでは宮内中学校ではあるが実際起こった際は近隣町内が集まって、入れる余裕がなかった。撰田屋町内としては2か所避難所を確保している状況である。	地域と事業所が協力し、防災・災害対策計画を考え、地域一帯となって取り組んでいく。